

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

### 事業名 スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金（コロナ分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111(内8590)

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 126,000 千円 (前年度予算額：84,000 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	84,000	84,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	126,000	42,000	0	0	0	0	0	0	84,000
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症については、各学校において「新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ感染再拡大時に備えた学校の対応を含む）」に基づき、学校の教育活動を継続し、児童生徒及び教職員の感染が広がらないように努めている。そのためには、児童生徒の登校時の検温・健康観察や各教室内の換気、共用部分の消毒作業など、新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められており、そのための人的体制整備を支援する必要がある。

### (2) 事業内容

- ・児童生徒の登校時の検温及び健康観察のとりまとめ作業
  - ・各教室内の換気や消毒作業などの感染症対策への対応 等
- [配置要件] 5学級以下を除く学校に1名（小・中・義）  
 ＊市立特別支援学校（義務部）を含む  
 [実施事業主体] 市町村

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 2 / 9 県 4 / 9 市町村 3 / 9

### (4) 類似事業の有無

- ・無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	42,000	スクール・サポート・スタッフに係る人件費
		・1人当たり年間360時間（3時間/日×5日×35週）
		・360人分（市町村配置予定人数）
合計	42,000	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### （1）各種計画での位置づけ

○「新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ感染再拡大時に備えた学校の対応を含む）」

・基本的な感染防止対策の徹底

「健康チェックカード」による毎日の健康状態の確認、登下校時も含めた居場所の切り替わり等における手指衛生（手指消毒）、教室等の換気、身体的距離の確保、飲食時は会話しない等、基本的な感染防止対策を徹底すること。

・教室、体育館等における正しい換気の方法を児童生徒及び教職員に再徹底すること。  
（30分に1回以上・数分間程度・窓を全開、2方向の窓を同時に開放、（以下省略））

#### （2）事業主体及びその妥当性

事業主体は市町村（学校の設置者）であるため、市町村教育委員会の意見・要望を踏まえて実施する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、児童生徒の登校時の検温・健康観察や各教室内の換気、共用部分の消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材を配置する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症への対応として実施するものであり、指標の設定になじまない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防及び対策の徹底</li> <li>・教員、スクール・サポート・スタッフ各々の担うべき業務の明確化</li> <li>・教員の業務の適正化</li> <li>・スクール・サポート・スタッフ（コロナ対応含む）を27市町村に配置</li> </ul>
-------	--

## 2 事業の評価と課題

### （事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)  3	<p>「新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ感染再拡大時に備えた学校の対応を含む）」において、児童生徒の健康チェックや換気等の必要性が示されており、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る上で、必要性が高い。</p>
---------------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり  
2:期待どおりの成果あり  
1:期待どおりの成果が得られていない  
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

2

各教室内の換気や消毒作業等をスクール・サポート・スタッフが実施することで、教職員が児童生徒の学びの保障に注力できる。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

2

各市町村・各学校において、児童生徒の健康チェックや消毒作業等の業務を依頼し、効果的な取組を推進している。

(今後の課題)

国や県の指針や活躍事例等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策（オミクロン株の特性を踏まえた対応を含む）の徹底を図る。

(次年度の方向性)

新型コロナウイルス感染症対策（オミクロン株の特性を踏まえた対応を含む）の徹底を継続していくことが必要である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
------------------------

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--